

平成25年第3回岐阜県議会定例会提出予定議案の概要(予算関係)

(平25.6.4)

平成25年度一般会計予算の補正

歳入歳出補正予算の規模

補正額	2,127,460千円
既定額	746,290,000千円
累計	748,417,460千円

<参考1>

前年度同期予算額	744,671,211千円
対比	3,746,249千円
伸率	0.5%

<参考2>

過去の6月補正予算規模	平24	22.3億円
	平23	22.8億円
	平22	10.2億円
	平21	1,020.8億円
	平20	—

(単位:千円)

(1) 歳入 ()内は、既定額→補正後額を表す

国庫支出金 1,270,252 (88,553,110→89,823,362)

○国庫補助金 1,270,252 (45,756,236→47,026,488)

繰入金 822,042 (31,952,602→32,774,644)

○基金繰入金 822,042 (31,677,897→32,499,939)

繰越金 35,166 (3,000,000→3,035,166)

補正額合計 2,127,460

(2) 歳出(主なもの)

・風しん予防接種費用に対する助成制度の創設 16,000

先天性風しん症候群(妊娠中の女性が風しんに罹患した結果、胎児に生じる難聴や心疾患、白内障などの症状)の発生を防止するため、風しん予防接種費用に対する市町村の助成に対し支援

・大気汚染監視機能の強化 7,965

微粒子状物質(PM2.5)の測定値をリアルタイムで把握し、住民への注意喚起を行うため、大気汚染監視システムのオンライン化を推進

・保育士・保育所支援センターの開設 6,000

潜在保育士の就職のあっせん、保育所の潜在保育士活用の支援等を行う「保育士・保育所支援センター」を開設

・実践的な英語力育成に向けた英語教育の検討 6,900

英語授業の改善、第2次岐阜県教育ビジョンの検討に活用するため、生徒の英語力を把握・分析する外部検定試験を実施

・国補正基金の有効活用 2,090,595

災害拠点病院等の耐震化の推進のための基金積立のほか、国補正予算で設けられた基金を活用して、雇用創出及び人材育成事業を実施

《企画経済委員会関係》	820,343
＜商工労働部＞	820,343
○緊急雇用創出事業臨時特例基金事業	819,042
	(4,122,555→ 4,941,597)
地域の安定的な雇用の受け皿を創出するとともに、成長分野として期待される産業や農業などの分野における新たな雇用創出と人材育成が一体となった事業を実施	
《厚生環境委員会関係》	1,300,217
＜環境生活部＞	7,965
○大気汚染常時監視テレメータシステム整備事業費	7,965
	(10,776→ 18,741)
微粒子状物質 (PM2.5) の測定値をリアルタイムで把握し、住民への注意喚起を行うため、大気汚染監視システムのオンライン化を推進	
＜健康福祉部＞	1,292,252
◎風しんワクチン接種促進緊急対策事業費補助金	16,000
先天性風しん症候群（妊娠中の女性が風しんに罹患した結果、胎児に生じる難聴や心疾患、白内障などの症状）の発生を防止するため、風しん予防接種費用に対する市町村の助成に対し支援	
○医療施設耐震化臨時特例基金積立金	1,270,252
	(7,432→ 1,277,684)
災害時の医療確保及び医療機関の機能強化を図るため、災害拠点病院等の耐震化を推進するための基金を積立	
◎保育士・保育所支援センター開設等事業費	6,000
潜在保育士の就職のあっせん、保育所の潜在保育士活用の支援等を行う「保育士・保育所支援センター」を開設	

《教育警察委員会関係》

6,900

<教育委員会>

6,900

○グローバル・コミュニケーション能力育成支援事業費

6,900

(5,000→ 11,900)

英語授業の改善、第2次岐阜県教育ビジョンの検討に活用するため、生徒の英語力を把握・分析する外部検定試験を実施